

令和7年度独立行政法人自動車技術総合機構調達等合理化計画自己評価資料

重点的に取り組む分野

内容	評価									
(1) 審査上屋等における改修等工事に関する調達 令和6年度については、一者応札割合は前年度とほぼ同程度であったため、引き続き公告期間や工期の十分な確保を行うとともに仕様書を配布した事業者に入札に参加しなかった要因を探るために実施しているアンケートの取り組みを改善・強化することと致します。 また、仕様書内容を具体的かつ詳細に明示するなど不断の見直しに努めることとし、入札参加要件の拡大、事業者への積極的な案内を図り、一者応札割合の改善に取り組むことと致します。 評価指標【競争契約に占める一者応札割合】	<table><thead><tr><th></th><th>一者応札件数</th><th>競争入札全体に占める割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和6年度</td><td>24 件</td><td>(36.4%)</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>8 件</td><td>(25.0%)</td></tr></tbody></table>		一者応札件数	競争入札全体に占める割合	令和6年度	24 件	(36.4%)	令和7年度	8 件	(25.0%)
	一者応札件数	競争入札全体に占める割合								
令和6年度	24 件	(36.4%)								
令和7年度	8 件	(25.0%)								
	(注) 令和7年度より少額随意契約の基準額を改正したため、令和6年度の一者応札件数および競争入札全体に占める割合は比較するため当該基準額を適用したもので算出している。 →令和7年度については、前年度に対して一者応札割合が減少した。 令和7年度においては、公告期間について当機構の規定する期間より多くの期間を確保するとともに、仕様書内容を具体的かつ詳細に明示するなど、透明性、競争性の確保に努めた。 引き続き適切に調達を実施すべく、入札情報の周知徹底を図っていくとともに、アンケートにより、要因分析を行い対応について検討してまいります。									

（２）共同調達・一括調達の拡大

令和6年度については、交通安全環境研究所に隣接する研究機関と共同して、前年度に引き続き、コピー用紙の購入や電気設備の保守業務に関する調達等に加え、研究施設一般公開に係る調達を実施し、事務処理の効率化を図った。さらに、前年度に引き続き、独立行政法人国際観光振興機構と機構本部においてコピー用紙購入の共同調達を実施した。

令和7年度においても、引き続き共同調達を実施するとともに、他の契約についても共同調達の拡大を検討する。

また、業務の効率化・スケールメリットが見込まれる案件については、自動車技術総合機構全体を対象とした一括調達を進めており、検査機器の消耗品購入等、令和6年度においては55件を本部にて一括調達を実施しているが、引き続き拡大を検討していく。

評価指標 【共同調達及び一括調達（本部実施分）の実施件数】

共同調達件数

共同調達金額

令和6年度 5件 477.4万円

令和7年度 6件 581.7万円

→隣接する他の研究機関と交通安全環境研究所において、6年度に引き続き共同調達を実施。さらに、独立行政法人国際観光振興機構と自動車技術総合機構本部における共同調達では、従来からのコピー用紙購入に加えて、新たに名刺の印刷も実施した。

一括調達件数

一括調達金額

令和6年度 53件 37.9億円

令和7年度 35件 38.3億円

（注）令和7年度より少額随意契約の基準額を改正したため、令和6年度の一括調達件数および一括調達金額は比較するため当該基準額を適用したもので算出している。

→一括調達による手続きの効率化、コスト削減等が見込まれる案件について、6年度に引き続き一括調達を実施した。

なお、令和6年度と比較して件数が減少している主な要因は、モバイルWi-Fiルーター調達等の新規調達7件があった一方で令和6年度限りの調達が25件あったため、18件減少したものです。なお、検査機器の消耗品購入等の毎年度必要な調達は継続して一括調達を実施した。

また、令和6年度と比較して件数は減少しているものの、金額は同程度となっている。

令和8年度においても、引き続き共同調達および一括調達の拡大に努めてまいります。